

本パッケージは、生産者や関係団体のキーパーソンとの意見交換を随時行い、皆さんからの意見を施策に反映しながら毎年度見直ししていくこととしています。

生産者や関係機関・団体はもとより、県民の皆さんすべての力を結集して、農林水産業の変革を一緒に進めていきましょう。



生産者の皆様へ「所得向上プログラム」を実践してみませんか

所得向上プログラムは、生産者が経営戦略を描くことができるように、生産者自身が所得向上に向けて取り組むべき方向性を品目別に具体的に示したものです。

2025年度版では、「水稲+大豆」、「夏秋いちご」、「にんにく」、「肉用牛」の所得向上プログラムを追加しています。

例：夏秋いちご（新規就農タイプ）

私は、新規就農後4年目で、夏秋いちごを栽培しています。経営面積は17a（100坪ハウス5棟）で、土耕栽培をしています。

更に所得を向上させたいです。

今では、経営面積は20a（100坪ハウス6棟）で、高設栽培システムと培地冷却装置を導入し、作型を分散することで、

- ・品質の向上
- ・農薬費の削減
- ・収穫開始後の労働時間の平準化
- ・総出荷量の増加

を実現し、農業所得が3.9倍に増加しました。

ある農業者

経営収支（17a）	
粗収益	6,093 千円
経営費	4,753 千円
所得	1,340 千円
所得率	22.0 %
労働時間（10aあたり）	2,727 時間（1,604時間）

所得向上プログラムを実践

- 土耕栽培から高設栽培へ転換
→土壌と隔離した栽培方法で土壌病害による減収や大雨被害を回避するとともに、作業の軽労化を図ります。
- 遮光等既存の高温対策技術に加え、培地冷却装置を導入
→高温による各種生理障害を回避します。
- 作型の分散による労働力の平準化
→定植時期を分散し、作業の競合による収穫遅れを回避します。

数年後のある農業者

経営収支（20a）	
粗収益	12,079 千円
経営費	6,804 千円
所得	5,275 千円 ↑
所得率	43.7 %
労働時間（10aあたり）	3,630 時間（1,815時間）



— 概要版 —

「農林水産力」強化パッケージとは

本パッケージ(令和6年～10年)は、「青森県基本計画『青森新時代』への架け橋」で掲げる、「農林水産業が持続的に発展する社会」の実現に向けて、農林水産分野の具体的な取組をまとめたものです。

重点的に取り組む「プロジェクト」、着実に進める「継続的な取組」、生産者が実践する「所得向上プログラム」で構成します。

農林水産力とは

「豊かさを実感できる力強い農林水産業」を「農林水産力」と表現しました。生産者個々の技術力や、豊かな地域資源を生かした生産・販売力、農山漁村の活力を結集して収益力を高めていく思いを込めています。



特徴1 品目・分野に着目した分かりやすい分類による施策体系

「農林水産力」の強化に向けた4つの柱と44のプロジェクト

販売力強化

商品開発	①消費者ニーズに寄り添った新商品開発	(統合)
販路拡大	②物流革新と販路開拓・拡大	
情報発信	③あおりブランドの確立に向けた情報発信の強化	
地産地消	④地域経済の活性化に向けた地産地消の推進	

【農業】

水田農業	⑤世界に羽ばたく持続可能な米づくり ⑥水田フル活用による収益力強化
------	--------------------------------------

野菜・花き	⑥「ながいも」で儲かる産地づくり ⑦「にんにく」で儲かる産地づくり ⑧施設園芸で儲かる産地づくり
-------	--

果 樹	⑨世界に誇る「青森りんご」の次世代への継承 ⑩安全・安心の「青森りんご」輸出基盤の強化 ⑪おとう「ジュノハート」による産地力向上
-----	--

畜 産	⑫多様なニーズに対応した牛肉生産 ⑬次世代につながる酪農産地づくり ⑭持続可能な畜産を支える草づくり ⑮畜産を守る家畜衛生対策の推進
-----	---

生産基盤	⑯スマート農業にも対応した基盤整備の推進 ⑰農業・農村の防災・減災、強靱化 ⑱経営の効率化に向けた農地集積・集約化等
------	--

先端技術	⑲あおり「農業DX」の実現
------	---------------

持続可能な農業	⑳環境負荷低減による持続可能な農業の実践拡大
---------	------------------------

【林業】

森林整備	㉑緑豊かな森林づくりによるCO ₂ 吸収力の強化
------	-------------------------------------

生産基盤	㉒県土を守る森林環境の保全 ㉓スマート林業技術等を活用した林業のデジタルシフト
------	--

木材利用	㉔県産材の安定供給と利用の確保
------	-----------------

【漁業】

増養殖	㉕ホタテガイ300億円産業の恒久化 ㉖サーモンの一大産地化 ㉗ナマコ資源増大チャレンジ ㉘つくり育てる漁業の推進
-----	---

漁船漁業	㉙持続可能な漁業に向けた新たな資源管理の推進 ㉚いか釣り漁業の経営安定（新規）
------	--

水産基盤	㉛水産業の成長産業化に向けた拠点整備 ㉜環境変化に適応した漁場生産力の強化
------	--

人財育成

農業人財	㉝未来を担う人財育成 ㉞所得向上プログラムの実践（新規） ㉟企業の農業参入の推進（新規）
------	--

林業人財	㊱林業の新たな担い手確保・育成
------	-----------------

漁業人財	㊲漁業者の確保・育成
------	------------

農山漁村振興

地域活性化	㊳あおり型農村RMOの実現 ㊴「海業」の推進による漁村の活性化
-------	------------------------------------

多様な人財活躍	㊵多様な農業人財の活躍促進 ㊶ユニバーサル農業の推進
---------	-------------------------------

地域資源	㊷食の力を生かした健康的な暮らしの実現 ㊸農業・農村インフラの機能の確保 ㊹森林資源等を生かした山村の振興
------	---

令和7年度農林水産政策の重点項目

1 所得を上げる ための「生産者」の経営改善支援

- (主な取組内容)
- ・経営指導を受けた農業者自らが計画・提案する公募・成果連動型支援事業の創設
 - ・ゲノミック評価による優秀な雌子牛の選定と子牛市場の新たな取引システムの導入
 - ・県産米の輸出拡大とながいの品質を維持する優良種苗増殖体系等の実践

2 産業を守る ための「企業」等との連携

- (主な取組内容)
- ・りんご産地等の課題解決に向けた企業の農業参入支援と受入態勢づくり
 - ・県内建築物で使う木材を県産材に転換するための仕組みづくり
 - ・ホタテガイの効率的な採苗や高水温に対応した養殖技術の開発

3 次代を支える ための「人財」の確保・育成

- (主な取組内容)
- ・「あおり農業経営塾」と提案型海外研修の継続実施
 - ・青い森林業アカデミーNextVision(仮称)の作成と指導体制の整備
 - ・ホタテガイ養殖業などの承継円滑化等に向けた定着支援プログラムの策定

特徴2 44のプロジェクトごとに数値目標を設定(3プロジェクトを追加)

いか釣り漁業の経営安定プロジェクト

目 標	挑戦する内容
ICTスルメイカ漁獲情報管理システムの登録者 令和6年 56人 令和10年 68人	・県内外のスルメイカ漁獲情報等のICT化等による収益力確保支援 ・ケンサキイカ(南方系イカ)等の漁獲状況の調査・解析 ・漁法の複合化に向けた所得向上プログラムの策定・普及



所得向上プログラムの実践プロジェクト

目 標	挑戦する内容
1経営体当たりの生産農業所得 令和5年 488万円 令和10年 625万円	・農業者の経営分析・経営改善指導等の指導体制の強化 ・所得向上プログラムの取組支援



企業の農業参入の推進プロジェクト

目 標	挑戦する内容
農業生産参入法人数 令和4年 77社 令和10年 110社	・企業の本県への農業参入に向けたオーダーメイド型の支援 ・企業の農業参入に対応する受入態勢づくり ・企業とりんご生産者等との連携、加工事業者のりんご生産の参入支援

